

2011年4月27日

立命館アジア太平洋大学（APU）の在学生父母の皆様、そして在学生、留学を予定されている学生の皆さん

本日、我々はAPUを訪問し、APUの役職者や多数のベトナム出身の学生と面会しました。素晴らしい教育環境に加え、学生寮や体育館など充実した施設も視察し、とても有意義な時間を過ごしました。

APUのキャンパスは別府湾の絶景を見渡す高台に位置しており、美しく新鮮な空気のもと、数千人の学生が学生生活を謳歌しています。その半数は様々な言語や文化を有する国・地域の出身者です。大学は将来の国際的なキャリア形成を見据え、主に日英二言語での授業とベトナム語を含む六言語の知識や異文化を理解する機会を提供しており、学生は健康的で規律ある文化的な生活を送っています。

日本はこの度の地震や津波、放射線の問題で非常に難しい事態を経験しましたが、東北地方のある地域を除いては、通常の生活に戻っています。被災地では学生生活を含めて、人々が復興への強い意志を持って、努力を続けています。

日本では新学期が始まり、全てのご両親に、自信を持ってお子さんを日本へ送り出してほしいと伝えたいと思います。

大分県、特に別府市は被災地から約1000キロも離れ、とても安全です。

ご両親には、ここ別府でのご子息の研究や自然環境、社会生活を安心だと確信を持ってほしいと思います。

皆様のご多幸をお祈りいたします。

駐日ベトナム大使  
グエン・フー・ビン